

持続可能なパーム油会議

パネルディスカッション1：つくる責任・つかう責任

富士ゼロックスの 持続可能な用紙調達の取り組み

2017年11月6日

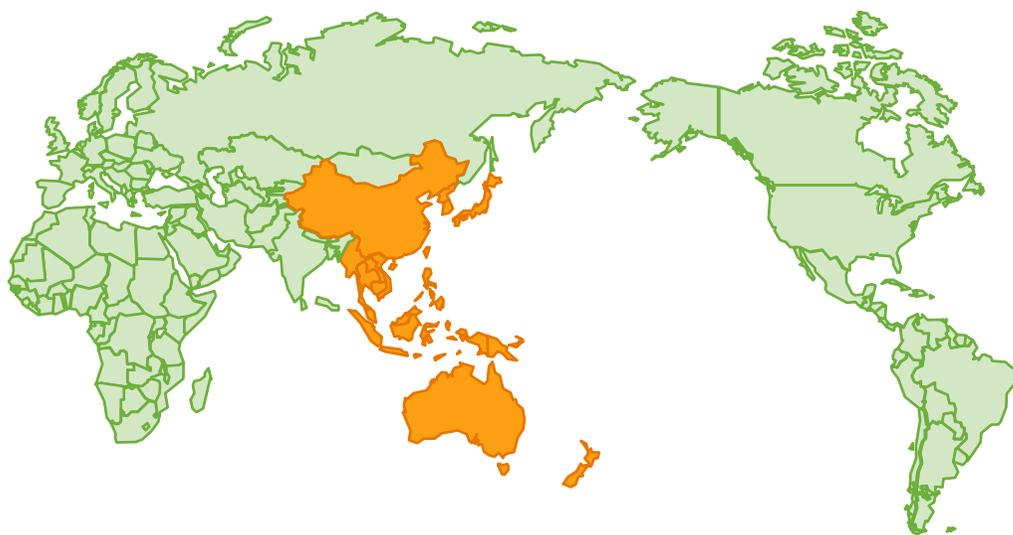
富士ゼロックス株式会社

総務部 環境経営グループ／宮本育昌

当社の概要

創立：	1962年2月20日
資本金：	200億円
株主：	富士フィルムホールディングス(75%) ゼロックス・リミテッド(25%)
従業員数：	47,357人 (2017年3月 連結) 8,172人 (2017年3月 単独)

販売/サービス活動地域



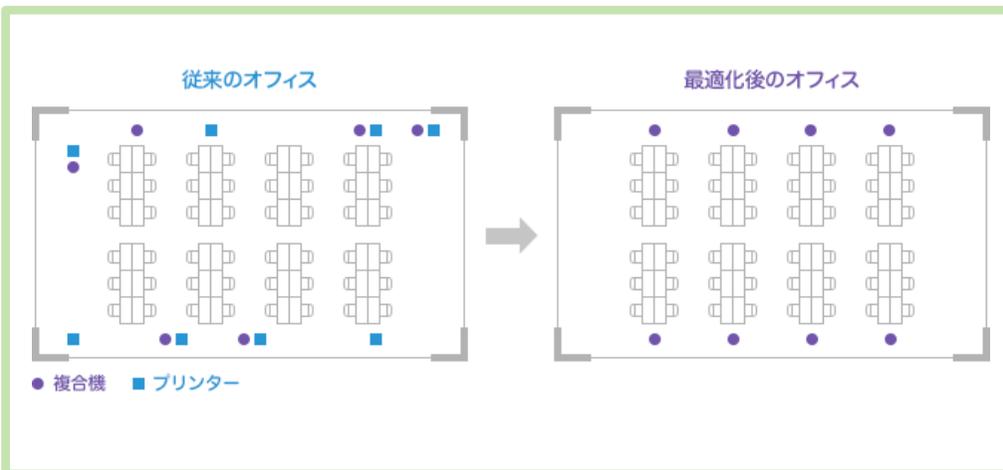
アジアパシフィック地域は直接の商品提供
その他の地域はXerox Corporationへの製品供給

業績



事業の概要

グローバルサービス



オフィスプロダクト



プロダクションサービス



オフィスプリンター



経営重点テーマとSDGsの繋がり

- 当社は「自社の事業を通じてSDGs8(働きがいと経済成長の実現)に貢献すること」を2016年からサステナビリティレポートに明記しています。

企業理念/
取り組むべき社会課題

知の創造と活用をすすめる環境の構築

- 責任あるものづくり (調達・生産活動) など

世界の相互信頼と文化の発展への貢献

- 地球温暖化の抑制
- 自然の保全と有効活用
- 生物多様性の保全 など

一人ひとりの成長の時間と喜びの実現

- 社会課題の解決に貢献する人材づくり など

経営重点テーマ

- サプライチェーンマネジメントの強化(自社生産拠点でのCSR実践、CSR調達の拡大)

など

- 技術革新の促進と働き方変革の支援による社会の環境負荷削減

- 責任ある用紙調達の継続

など

- 自ら考え行動する人材の育成

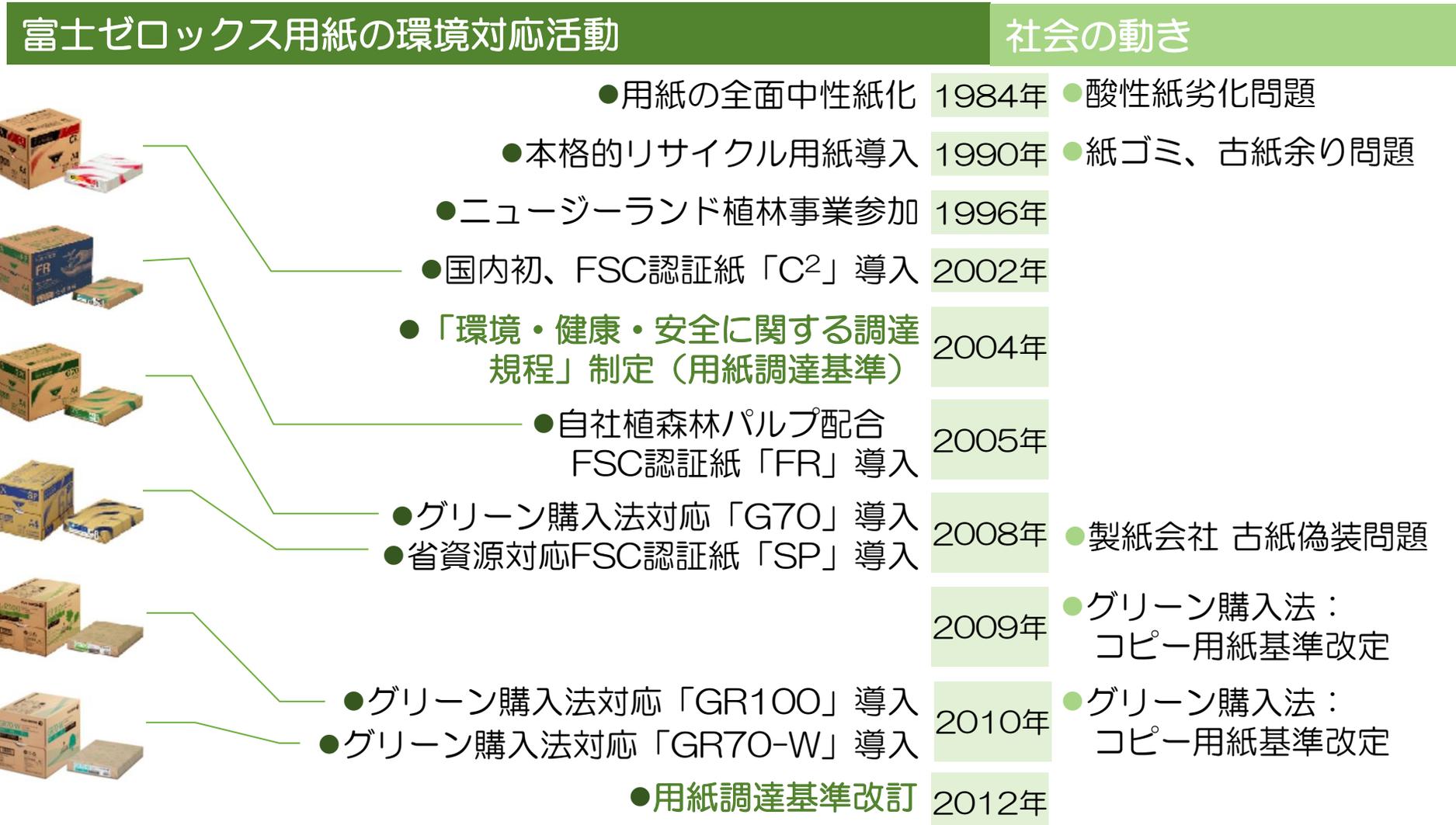
など

長期的に目指す姿(2030年)



環境に配慮した商品づくりの歴史

■ 富士ゼロックスは、創立時から現在に至るまで、社会環境の変化への対応とあるべき商品の姿を目指し、用紙の開発と環境保全に向けた活動を続けています。



用紙のトレーサビリティ強化の動き

- 2004年制定の調達基準に基づき、用紙について取引先企業に毎年調査を実施してきました。

調達基準(用紙基準)

- 持続可能な森林管理
- 再生パルプのトレーサビリティ管理
- 化学物質の遵法管理
- 無塩素漂白
- 工場の環境管理

- 一方、NGO等の要求が高まり、当社の調達先の活動に対しても批判が高まっていました。

- 保護価値の高い天然林の大規模伐採または皆伐
- 地域住民の権利の侵害
- 役人に対する収賄

- 継続した環境配慮の取り組みとして、用紙調達基準の見直しを進めました。

- ◆ 取引先企業の事業活動全体の評価基準を検討
- ◆ 環境NGOや専門家の助言を参考に新基準を策定
- ◆ 基準に不適合の取引先企業との取引停止を経営提案

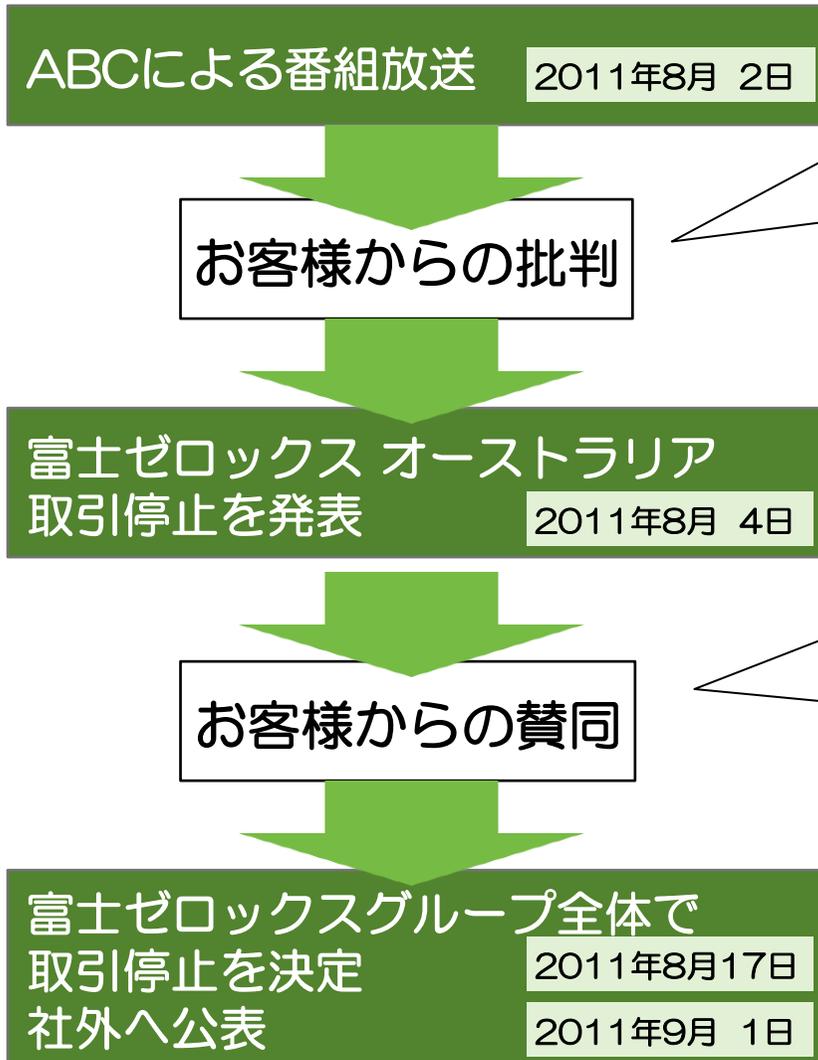
調達基準

用紙基準

+

取引先基準

用紙のトレーサビリティ強化の動き



- 番組を見てショックを受けている。富士ゼロックスはその用紙サプライヤーと取引をやめるべきだ。
- 私は富士ゼロックスの顧客だが、富士ゼロックスがしかるべき対応が無いようなら今後サポートはしない。
- 富士ゼロックスは、環境破壊に加担していることを意味する。

- 今回の素早い決定を支持する。
- 環境保全に向けて取引停止を決定したことを評価したい。また、顧客として、価格に関係なく貴社の商品を選択するだろう。
- この決定は、グループワイドに展開されなければならない。

用紙調達基準の改正を加速

持続可能な調達を目指して

- 2012年5月に用紙調達基準を改定し、「環境」「地域住民」「企業倫理」などCSR観点の基準を定め、基準を満たした企業からのみ、用紙を調達することを義務付けました。



取引先基準

- 環境の保全
操業する国および地域の法令を順守していることはもとより、保護価値の高い森林の保護や森林生態系に配慮した操業を行っていること
- 地域住民の権利の保護
周辺住民の権利（生活権や居住権等）が守られているとともに、周辺住民の権利に重大な影響を与える可能性がある場合に、当該住民に対して十分な対話を行っていること
- 企業倫理の徹底
労働者の人権が守られていること、公正な取引が慣習的に行われていること、反社会的勢力や団体との関係を断っていること

持続可能な調達を目指して

- 新たな調達基準に基づき、調達先企業の遵守状況を毎年調査し、その結果を経営層が参加する会議で確認しています。

調達基準

- 持続可能な森林管理
 - 再生パルプのトレーサビリティ管理
 - 化学物質の遵法管理
 - 無塩素漂白
 - 工場の環境管理
- +
- 環境の保全
 - 地域住民の権利の保護
 - 企業倫理の徹底

遵守を要請

状況を報告

調達先企業

◆ 遵守状況に問題がある場合には、経営層が取引停止も含めて判断します。

紙を使い続けるために

今後の課題と対応

1. 調達基準管理体制の維持・徹底
2. 増加する管理コストの吸収



製紙会社様やお客様のご協力をいただき、安心して紙を使っていただけるように、自社の管理を徹底します。

そして、紙を持続的に使用できる社会を目指します。

